

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
緑化推進記念樹等助成事業		身近なみどりへの愛着心を育ててもらい、緑を育てつつ心を広げることににより、緑化の推進を図る。子どもの誕生や住居の新築、購入を祝い、記念となる樹木（記念樹）を購入することについて、その一部を助成する。			指標	総計の現状値	R6実績値	助成することにより、樹木の購入を後押しし、みどりに対しての愛着の向上と緑化の推進を図ることができた。	出生件数から比較すると今年度においても助成の件数が少ないため引き続き制度の認知度の向上を行っていく必要がある。
総合計画の位置づけ					快適に利用できる公園があると思う市民の割合	58.1%	54.5%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち								
個別目標の方向性		魅力と愛着が感じられる公園づくりとみどりが身近に感じられるまちづくりを進めます			R5決算額	130	0		
					R6決算見込額	130	0		
					R7予算額	500	0		
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
地域計画事業		都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、土地利用、都市施設の整備及び良好な市街地の形成に関する計画等の策定を目的とする。 都市計画に決定・変更及び都市計画審議会の開催。 都市計画に関する方針の策定。 都市計画に関する縦覧用図面、販売用市域図、地形図及び都市計画図の作成。 各種計画の策定に向けた検討			指標	総計の現状値	R6実績値	R7年度の用途地域見直しに向け、調査分析等を実施し、見直し内容について検討を行った。 また、汚物処理場の計画決定を行った。	これまでどおり、住みよいまちづくりを実現するために、法定都市計画基礎調査や必要に応じた都市計画の変更及び必要な計画策定に向けた検討を実施していく必要がある。
総合計画の位置づけ					便利で暮らしやすいまちだと思ふ市民の割合	81.50%	78.70%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち								
個別目標の方向性		良好な市街地を形成し便利で暮らしやすい都市づくりを行います			R5決算額	11,847	(11,847)		
					R6決算見込額	5,036	(5,036)		
					R7予算額	15,001	(15,001)		
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
景観形成誘導事業（景観市民会議「景観人の集い」）		市民一人ひとりが景観を育てる主人公となれるよう「景観人の集い」を設置し、市内の景観を親しみと愛着と誇りあるものとし、ゆとりとうるおいのある景観まちづくりの実現を図る。 景観市民会議「景観人の集い」の事務局として活動の支援を行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	令和6年度は、景観人の集いの主催により歴史こぼれ話を3回開催した。 また、市民を対象とした景観セミナーを3回開催した。	景観は、魅力あるまちづくりの要因の一つであり、市域の良好な景観形成のためには、市民の景観に対する意識醸成が重要であり、今後も続けていく必要がある。
総合計画の位置づけ					便利で暮らしやすいまちだと思ふ市民の割合	81.50%	78.70%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち								
個別目標の方向性		良好な市街地を形成し便利で暮らしやすい都市づくりを行います			R5決算額	31	(31)		
					R6決算見込額	45	(45)		
					R7予算額	68	(68)		

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み	
まちづくり運営事業		泉大津の風土と文化を活かしたうるおいと活力のあるまちづくりを、市民の自発的なまちづくり活動によって推進するための環境を整える。 市民のまちづくり会議や女性まちづくり会議に対して、まちづくり事業や計画を策定するため、多様な情報提供等を行うとともに市民の自主的なまちづくりを促進するための環境を整える。		指標		総計の現状値	R6実績値	魅力あるまちづくり事業を促進する中で、各地区の風土、文化や景観等の視点から取り組みが行われている。	今後も定期的にまちづくり会議が開催されるよう支援していく。	
総合計画の位置づけ				便利で暮らしやすいまちだ と思う市民の割合		81.50%	78.70%			
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち									
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち	事業費（うち市負担額）【千円】								
		R5決算額	384（ 384 ）							
個別目標の方向性	良好な市街地を形成し便利で暮らしやすい都市づくりを行います	R6決算見込額	385（ 385 ）							
		R7予算額	488（ 488 ）							
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み	
まちづくり事務所維持管理事業		市内南海本線周辺のまちづくりを進めていくため、市民と行政が一体となって議論する場であるまちづくり会議を支援するための、まちづくり事務所を維持管理する。まちづくりの拠点として、まちづくり事務所を設置。北助松駅周辺地区及び泉大津駅西地区まちづくり事務所は、市が維持・管理を行い、貸し出しについては、北助松駅周辺は地元自治会に依頼、泉大津駅西地区は、市で行っている。		指標		総計の現状値	R6実績値	まちづくり事務所では、市内南海本線三駅駅周辺地区の住民主導の駅周辺地区まちづくり構想の作成など、地域整備の円滑な推進に向けた議論が行われている。	当初目的としての使用は少なくなっているが、市民団体などの活動の場としては、広く使用されており、まちづくり事務所の位置づけ及び代替施設について検討が必要。また、地域移管に向けた検討・調整が必要。	
総合計画の位置づけ				便利で暮らしやすいまちだ と思う市民の割合		81.50%	78.70%			
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち									
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち	事業費（うち市負担額）【千円】								
		R5決算額	495（ 495 ）							
個別目標の方向性	良好な市街地を形成し便利で暮らしやすい都市づくりを行います	R6決算見込額	465（ 465 ）							
		R7予算額	600（ 600 ）							
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響		事業の課題/今後の取組み	
住居表示整備事業		従来の町名地番による住所の表示方法がわかりにくく、市民生活や企業活動に障害が生じるため、住居を表示する方法を合理的に定め、不便をなくし、住みよいまちづくりを目指す。 住居や事務所等の施設の所在する場所を、合理的な住居表示の方法によって定める。		指標		総計の現状値	R6実績値	新築届のあった住宅に付番通知書と住居表示プレートを発行し、転入・転居時の居住地確認を円滑にし、登記簿等の変更時に必要となる住居表示証明書を発行している。	実施済の区域では、これまでどおり、不便をなくし、住みよいまちづくりを行うため、付番通知書及び住居表示プレートの発行を行い、未実施区域については、住民合意の形成された地域から順次住居表示を実施する必要がある。	
総合計画の位置づけ				便利で暮らしやすいまちだ と思う市民の割合		81.50%	78.70%			
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち									
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち	事業費（うち市負担額）【千円】								
		R5決算額	250（ 250 ）							
個別目標の方向性	良好な市街地を形成し便利で暮らしやすい都市づくりを行います	R6決算見込額	193（ 193 ）							
		R7予算額	251（ 251 ）							

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
泉大津駅西地区周辺整備事業		泉大津駅西地区は泉大津市の中心として栄えていたが、泉大津駅東地区の再開発事業の竣工と共に、賑わいが衰退していった。本事業は泉大津駅西地区の活性化を促すため、都市計画道路泉大津駅前通り線の整備とその周辺道路の歩行者通行空間の整備を行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	令和6年度は3件の用地を取得し、用地の取得率（区画数）は令和5年度の63.6%から77.3%になった。また、借家人と立退き移転補償契約を1件締結した。なお、周辺道路（泉大津臨海連絡線、松之浜大津川線及び菅原小松町線）の歩行者通行空間の整備は令和元年度に完了している。	本事業は、国庫補助事業の採択を受けて実施しているが、国費の要望額に対する交付額が低くなってきており、市の負担が増加している。
総合計画の位置づけ					市内の移動を徒歩や自転車で 行っている市民の割合	73.6%	70.7%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち				市内の道路は安全で快適に 通行できると思う市民の割合	52.9%	51.0%		
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち								
		事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	44,157	(33,697)					
個別目標の 方向性		日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R6決算見込額	167,097	(156,893)				
		R7予算額	361,778	(246,792)					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
公園維持管理事業		市民の憩いの場となる公園を安全・安心に利用できるように、清掃、施設の修繕等を行い、適切な維持管理を行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	専門業者による遊具点検並びに施設の修繕等を適切に実施することにより、重大な事故を未然に防ぐことができた。	遊具及び建築物等の公園施設については、老朽化が顕著であり、安全確保の観点から改修等の対応をより進めていく必要がある。
総合計画の位置づけ					快適に利用できる公園がある と思う市民の割合	58.1%	54.5%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち								
個別目標の 方向性		事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	116,479	112,150					
		魅力と愛着が感じられる公園づくりとみどりが身近に感じられるまちづくりを進めます	R6決算見込額	123,262	101,509				
		R7予算額	128,701	107,545					
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
公園施設整備事業		魅力的なまちづくりの一環として、老朽化した公園施設の補修及び整備を行い、より多くの市民が安心して楽しめる公園造りを行う。社会資本総合整備計画を定め、社会資本整備総合交付金を活用したうえで、公園整備マスタープランに基づく公園整備を行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	都市公園長寿命化計画を改定した結果、費用対効果が高くなる適切な時期での施設維持管理を行うための指標ができた。また、公園整備マスタープランに基づき、公園等の施設の更新及び公園再整備を行った結果、安心して利用できる公園の整備を行うことができた。	市内公園全体の遊具及び施設等の老朽化が顕著であり、対応に多額の整備費用が必要となる。今後も、市内に多数ある老朽化した公園施設の更新の為、公園施設長寿命化計画及び公園整備マスタープランに基づく、年次的な改修や更新、再整備を行う。
総合計画の位置づけ					快適に利用できる公園がある と思う市民の割合	58.1%	54.5%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち								
個別目標の 方向性		事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	3,013,178	1,662,128					
		魅力と愛着が感じられる公園づくりとみどりが身近に感じられるまちづくりを進めます	R6決算見込額	134,606	31,426				
		R7予算額	244,343	8,497					

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み			
プール施設整備事業		市営プールを利用者にとって安全な状態で開場するために、老朽化したプール施設等の改修・補修を行い、プール利用者が安全に利用できるよう、プール施設の整備を行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	助松公園プールの更衣室棟や屋外トイレの更新等を行った結果、施設利用者の安全や利便性、及び景観を確保しつつ、夏季におけるレクリエーションの場を提供することができた。	排水設備等の老朽化が進行しており、計画的な改修と排水管清掃等による日常の維持管理に努める。			
総合計画の位置づけ					快適に利用できる公園があると思う市民の割合	58.1%	54.5%					
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち											
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち	事業費（うち市負担額）【千円】										
		R5決算額	68,037	69,012								
個別目標の方向性	魅力と愛着が感じられる公園づくりとみどりが身近に感じられるまちづくりを進めます	R6決算見込額	141,876	38,755								
		R7予算額	1,612	0								
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み			
緑化推進事業		緑の基本計画に基づき、緑化の推進を図る。また、みどりのまちづくり応援事業参加団体の活動に対して助成を行い、地域の緑化活動を推進する。みどりを紡ぐまちづくり絵画コンクールの開催。みどりのまちづくり応援事業に対して助成を行い、緑化活動を推進する。			指標	総計の現状値	R6実績値	市内の生徒、園児、児童を対象にみどりを紡ぐまちづくり絵画コンクールを実施した結果、1,668点の作品が寄せられ、緑と関わりを持つことにより緑化への意識向上を図ることができた。また、緑化活動団体（25団体）に対して助成を行った結果、市内の公園・植樹帯等の美化及び緑化の推進を図ることができた。	緑化ボランティア団体の高齢化が進んでおり、病気や猛暑の影響で参加者が減り、ボランティア活動の休止を検討している団体が増えている。新規参加団体を増やすため、更なる制度の周知を図る。			
総合計画の位置づけ					快適に利用できる公園があると思う市民の割合	58.1%	54.5%					
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち				緑化活動等を自主的に行う団体の数	22	25					
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち	事業費（うち市負担額）【千円】										
		R5決算額	4,280	938								
個別目標の方向性	魅力と愛着が感じられる公園づくりとみどりが身近に感じられるまちづくりを進めます	R6決算見込額	3,848	0								
		R7予算額	5,093	0								
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み			
みどり維持管理事業		緑の基本計画に基づいた、うるおいと安らぎを与えるみどりづくりの為に、適正なみどりの維持管理により、緑豊かで潤いのあるまちづくりを行う。			指標	総計の現状値	R6実績値	市内各公共施設敷地内・市道における幹線道路の樹木等の剪定及び除草等の管理を一貫して行い、新たに植栽を施した結果、全体の景観が向上し適切なみどり維持管理業務を進めることができた。	除草や剪定が必要となる時期が、どの箇所においても同時期となることから作業が集中し、要望等の対応に追い付かない状況となっている。作業員の増員や作業体制の再構築を図るよう委託業者と調整し、みどりの適正な維持管理を目指す。			
総合計画の位置づけ					快適に利用できる公園があると思う市民の割合	58.1%	54.5%					
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち											
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち	事業費（うち市負担額）【千円】										
		R5決算額	79,988	78,261								
個別目標の方向性	魅力と愛着が感じられる公園づくりとみどりが身近に感じられるまちづくりを進めます	R6決算見込額	87,898	86,699								
		R7予算額	86,986	85,538								

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
森林環境体験学習推進事業（都市づくり政策課）		小学生を対象に間伐材を用いたベンチづくりを行い、公園に設置し、森林環境保全及び環境意識の向上と、公園へ愛着を抱いてもらうことを目的とする。間伐材を用いて、公園のベンチを製作し、公園に設置する。			指標	総計の現状値	R6実績値	事業を通じて参加者の環境意識の向上を図り、作成したベンチをそれぞれの参加者の校区にある公園に設置することで公園への愛着を持っていたくことができた。	ベンチづくりは多くの間伐材を活用できる利点があるが、一度に作業できる人数が少ないため、手軽で幅の広い年齢層を対象とした体験学習のメニューについても検討が必要。
総合計画の位置づけ					快適に利用できる公園があると 思う市民の割合	58.1%	54.5%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち								
個別目標の方向性		魅力と愛着が感じられる公園づくりとみどりが身近に感じられるまちづくりを進めます			R5決算額	250	0		
					R6決算見込額	252	0		
					R7予算額	435	0		
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
木製遊具等整備事業（都市づくり政策課）		国産材を用いた木製遊具を設置し、木材利用の促進を図り、環境意識の向上と公園等への愛着を抱いてもらう。国産材を用いて作成された木製遊具を公園に設置する。			指標	総計の現状値	R6実績値	木製の2連ブランコを設置することで木材利用の促進を図り、子どもたちが木製遊具に触れる機会を設けたことで環境意識の向上と公園等への愛着を抱いてもらうことができた。	森林環境譲与税基金を用いた事業であることから、他の基金事業や基金の運用状況を考慮しながら計画的に木製遊具の設置を進める必要がある。
総合計画の位置づけ					快適に利用できる公園があると 思う市民の割合	58.1%	54.5%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち								
個別目標の方向性		魅力と愛着が感じられる公園づくりとみどりが身近に感じられるまちづくりを進めます			R5決算額	0	0		
					R6決算見込額	2,945	0		
					R7予算額	0	0		